

## 平成23年度 案件形成調査事業について

### I. 地球環境適応型・本邦技術活用型産業物流インフラ整備等事業(円借款・民活インフラ案件形成等調査)

#### 1. 事業の目的

本事業は、開発途上国におけるインフラ等の投資環境整備、地球環境問題への対応、我が国の資源の安定供給に資する鉱山等周辺インフラ整備等に関して我が国企業の優れた技術・ノウハウを活用した円借款案件形成等調査及び民活インフラ案件形成等調査を実施することにより、円借款案件又は官民パートナーシップを活用した事業を迅速に発掘・形成することを目的とする。

#### 2. 事業の内容

開発途上国におけるインフラ等の投資環境整備、地球環境問題への対応、我が国の資源の安定供給に資する鉱山等周辺インフラ整備等に関して我が国企業の優れた技術・ノウハウを活用した円借款プロジェクト及び民活型インフラ整備プロジェクトを対象とした案件形成調査。

\* 事業のワークフローについては別紙1を参照。

\* 上記調査は、OECD(経済協力開発機構)のDACリスト(開発援助委員会援助受取・地域リスト)掲載国を対象とする。

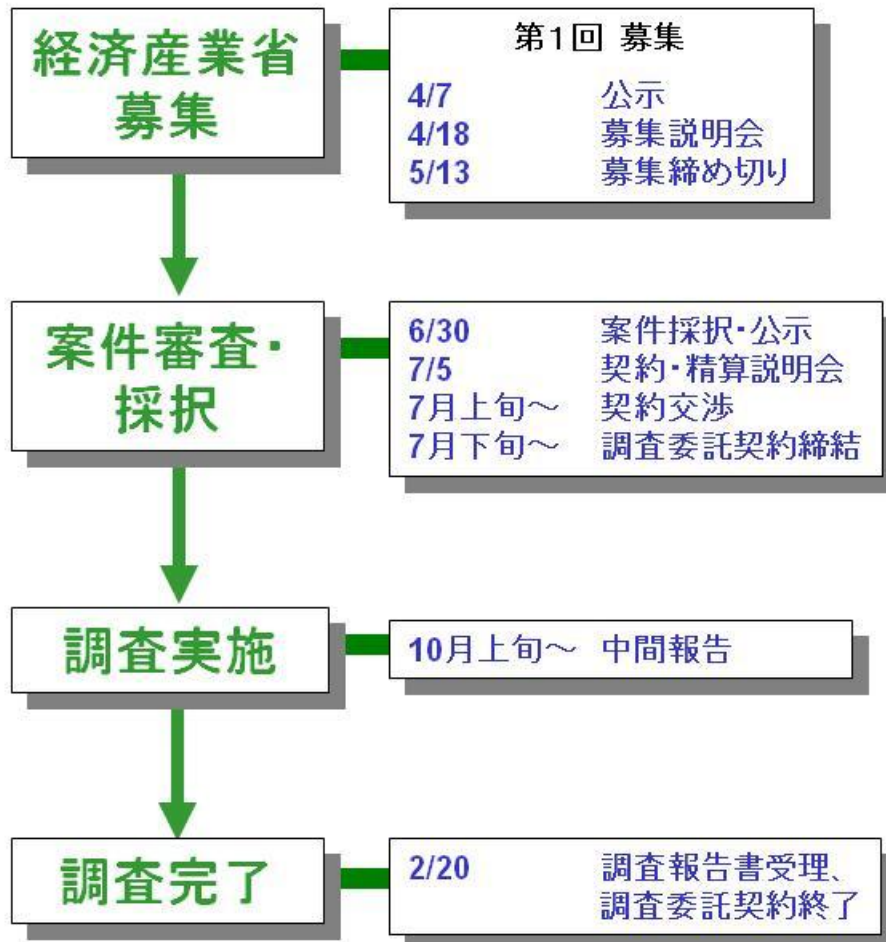
#### 3. 実施状況

6月30日に本年度の第1回募集採択案件を公示(別紙2参照)。その後、7月5日に、経済産業省が採択案件の担当者を対象とした契約・精算説明会を開催し、調査内容に関連する環境社会配慮調査項目を盛り込んだ実施計画書を作成するよう指示した。担当部は、実施計画書の精査にあたり、環境社会配慮審査役とともに、内容に不足がないか確認を行う。経済産業省では、7月下旬以降に調査委託契約を締結する予定。

#### 4. 実施体制

平成23年度の本事業については、経済産業省から新日本有限責任監査法人が事業管理支援業務を受託し、ジェトロは同法人からの再委託によって、事業の一部を実施することとなった。本事業の進め方については、別紙3参照。

地球環境適応型・本邦技術活用型産業物流インフラ整備等事業  
(円借款・民活インフラ案件形成等調査)  
平成23年度ワークフロー



## 平成 23 年度 円借款案件形成等調査 採択案件

### 1. インド・ムンバイ地下鉄 3 号線建設計画調査

提案法人： 株式会社オリエンタルコンサルタンツ、株式会社トーニチコンサルタン  
ト、株式会社パデコ

内 容： インド・ムンバイメトロ3号線であるColaba-Bandra間20.1キロ(全線地  
下)の地下トンネル工事、鉄道システム(信号、通信、電力、軌道等)導  
入、駅および車両基地建設の可能性を検討する。

### 2. インドネシア・ジャワ島地域専門医療サービス整備調査

提案法人： システム科学コンサルタンツ株式会社、日本工営株式会社

内 容： インドネシア・ジャワ島に医療特区を設け、民間資本・ノウハウを活用し  
たPFI事業を通じ、2.5次までの医療を行う地域中核病院における、成  
人の慢性疾患等に対する専門医療サービス提供システム構築の実現  
可能性を検討する。

### 3. インドネシア・スダ海峡大橋・地域開発計画調査

提案法人： 日揮株式会社、バリュープランニング・インターナショナル株式会社、株  
式会社オリエンタルコンサルタンツ、日本工営株式会社、新日本製鐵  
株式会社

内 容： スダ海峡大橋と周辺地域開発によるインドネシア国土開発軸形成と  
経済貢献を目指し、日本の強みを発揮でき、両国政策対話に資するプ  
ロジェクトの創出と段階的な事業化シナリオを構築し、現地実施機関へ  
の提案を企図した調査を行う。

### 4. フィリピン・ダルトンパスバイパス道路事業調査

提案法人： 株式会社建設技術センター、社団法人国際建設技術協会、セントラル  
コンサルタント株式会社

内 容： マニラとルソン島中部及び北部を直接結ぶ唯一の幹線道路上に位置  
するダルトンパスの迂回路を確保するための防災事業として、新規道  
路の整備実現可能性と日本のトンネル技術導入を目指した調査を行  
う。

## 5. ベトナム・ニンビン～バイヴオット高速道路建設事業調査

**提案法人:** 株式会社片平エンジニアリング・インターナショナル、大日本コンサルタ  
ント株式会社、鹿島建設株式会社、ランテックジャパン株式会社、株式  
会社三菱総合研究所

**内 容:** ベトナム北部に位置するニンビン～ギソン間(121km)とギソン～バイヴ  
オット間(97km)2 区間における新設高速道路の建設可能性を概略設  
計、環境社会配慮、事業費算出、STEP スキームをベースとする事業  
実施方法の観点から検討する。

## 6. ベトナム・船舶航行監視・安全管理能力強化網整備事業調査

**提案法人:** 日本無線株式会社、豊田通商株式会社

**内 容:** ベトナム主要 8 港(北部カムファ・ハイフォン・カイヤ港・中部ダナン港・  
南部ドンナイ・ブンタオ・ホーチミン港・ホンガイ港)及びメコン川等に、  
船舶運行管理システム(VTS)、船舶自動識別システム(AIS)を導入し、  
海洋環境 GIS を装備したナビゲーションシステムの構築可能性を検討  
する。

## 7. マケドニア・ビトラ市環境改善事業計画調査

**提案法人:** 横河電機株式会社

**内 容:** マケドニア南部の中核都市であるビトラにある同国最大のビトラ火力  
発電所に排煙脱硫装置(FGD)等設置のため、既存発電設備の現状  
を調査、技術的实施可能性などの事業化可能性を調査する。

**平成 23 年度 民活インフラ案件形成等調査 採択案件****1. インド・バンガロール～チェンナイ高速道路建設事業調査**

**提案法人：** 日本工営株式会社、東日本高速道路株式会社、株式会社パデコ

**内 容：** インド・バンガロール～チェンナイ間(260km)において、自動車専用高速道路の建設事業に関して経済・財務分析、沿道環境・社会への影響の評価等の調査を実施し、実現可能性を検討する。

**2. インドネシア・ジャカルタスカルノハッタ国際空港拡張事業調査**

**提案法人：** 伊藤忠商事株式会社、清水建設株式会社、日本空港ビルディング株式会社、株式会社日建設計、株式会社日建設計総合研究所、株式会社日本経済研究所

**内 容：** インドネシア・ジャカルタスカルノハッタ国際空港ターミナルの増設及びターミナル間の連絡線建設に関して調査を実施し、官民連携の可能性を検討する。

**3. インドネシア・ジャカルタ次世代道路交通情報システム事業調査**

**提案法人：** 株式会社野村総合研究所、西日本高速道路株式会社、株式会社オリエンタルコンサルタンツ

**内 容：** インドネシア・ジャカルタ特別州において、市民生活の利便性及び交通・社会環境の向上のために、交通情報提供システムの導入・運営に関しての調査を実施し、実現可能性を検討する。

**4. インドネシア・ジャカルタ特別州廃棄物 BOT 事業実施可能性調査**

**提案法人：** 株式会社エックス都市研究所、アラックス株式会社

**内 容：** インドネシア・バンテン州タンゲラン市において、ジャカルタ特別州の廃棄物処理のために日量 2,000 トン処理可能な中間処理施設(機械的生物処理とRDF発電)と埋立処分場の建設に関しての調査を実施し、BOT 方式での実現可能性を検討する。

#### 5. インドネシア・東ジャワ州マラン市及び周辺地域での統合型廃棄物発電事業調査

提案法人： 日立造船株式会社、株式会社エックス都市研究所、株式会社スマートエナジー

内 容： インドネシア・東ジャワ州マラン市及び周辺地域における統合型廃棄物発電につき、焼却の前処理部分を含めた技術面の評価、製作の現地移転による低コスト化の可能性評価、廃棄物処理費や売電収入の適正化を含めた事業性評価を実施、実現可能性を検討する。

#### 6. タイ・マエモ石炭ガス化・電力事業調査

提案法人： 財団法人日本エネルギー経済研究所、三菱商事株式会社、千代田化工建設株式会社

内 容： タイ・マエモ地区の既設石炭焚き垂臨界圧火力発電所のスクラップ&ビルドの計画を機に石炭ガス化複合火力発電(IGCC)の導入についてPPP案件として調査を実施し、官民連携の可能性を検討する。

#### 7. フィリピン・セブコンテナ新港及び既存港再開発事業調査

提案法人： 株式会社オリエンタルコンサルタンツ、株式会社 Ides

内 容： PPP によるインフラ整備のフィリピン政府方針に従い、セブコンテナ新港整備計画及び既存港の再開発計画を具体的に進める動きが関係省庁で活発化している状況を受け、これを支援するため、2002 年に JICA F/S で策定された計画をアップデートし、両計画の実現性の確認及び官民連携による事業実施方法についての検討を行う。

#### 8. マレーシア・太陽光発電事業調査

提案法人： 日本工営株式会社、オリックス株式会社

内 容： マレーシアにおいて、日系企業などの遊休地を活用し、太陽光発電設備を建設する。発電設備の設備容量は 20MW 相当で、2011 年導入予定の再生可能エネルギーの電力固定価格買取制度(FIT)を活用して売電する事業に関して調査を実施し、可能性を検討する。

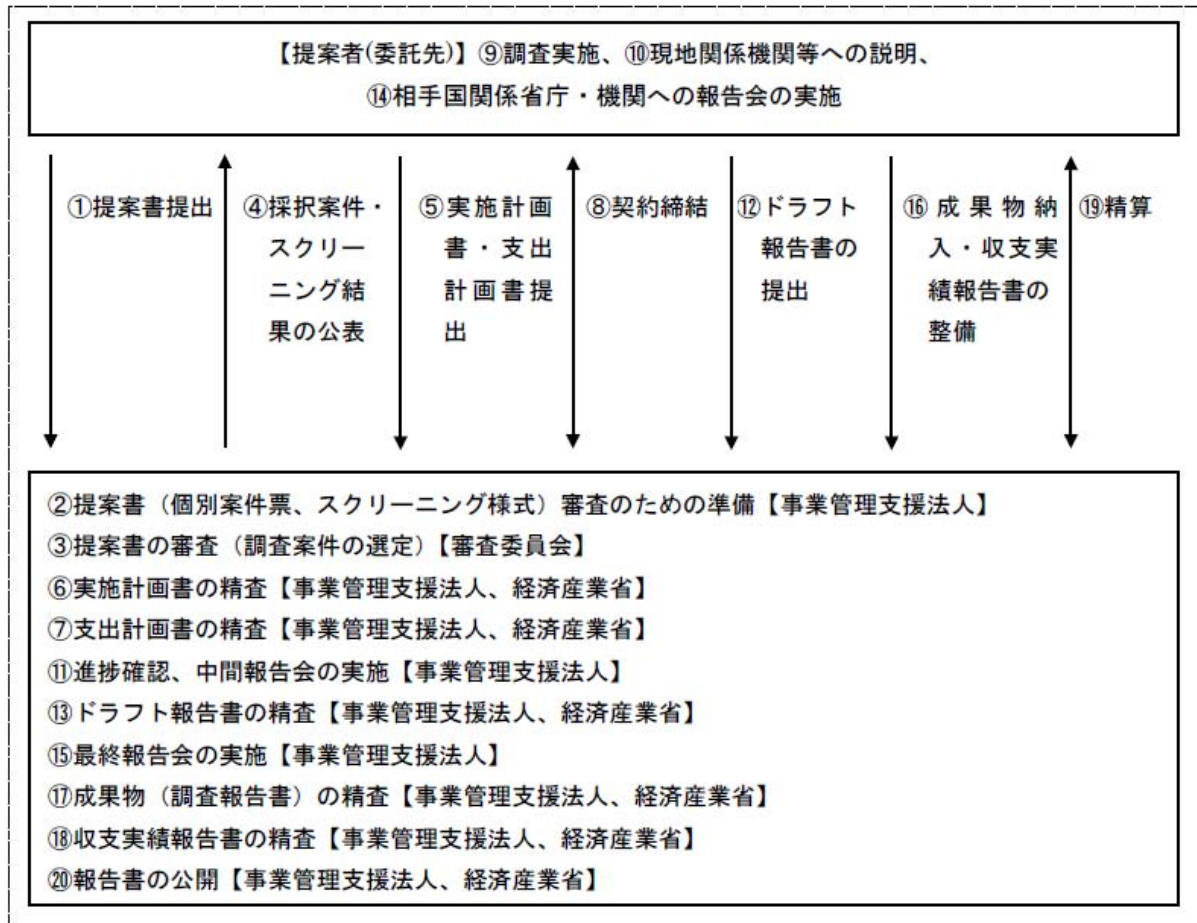
#### 9. 南アフリカ共和国・ヨハネスブルク～ダーバン間高速鉄道調査

提案法人： 社団法人海外鉄道技術協力協会、株式会社三菱総合研究所

内 容： 南アフリカ共和国・ヨハネスブルクとダーバン間(約 600km)に、新幹線をベースとした高速鉄道(設計最高速度:350km/h)を建設する事業に関して、当該事業に最適な技術(客貨共用の技術可能性も含む)と、経済・財務面の検証を実施する。

以上

平成23年度 地球環境適応型・本邦技術活用型産業物流インフラ整備等事業  
 (円借款・民活インフラ案件形成等調査)の進め方  
 ～第1回企画競争募集要領より抜粋(別添1)～



※①～⑳は進む順番の目安